

ぎ建交労 とちぎ

発行所 全日本建設交運一般労働組合
栃木県本部 〒327-0315
栃木県佐野市吉水駅前1-2-1
TEL 0283-62-7312 fax 0283-62-7318
http://www.dumptcg.org/
E-mail:kenkourou@dumptcg.org

ダンプ単価改善の動き続く 過積載による値崩れを阻止しよう



西新宿高層ビルにあるNIPPON関東第一支店に要請を行う代表者ら。本社会材部長の公約「ダンプに利益を還元」はいつになるのか。

20年前の失敗を 繰り返さないために

軽油単価の高騰、ダンプ不足、消費税率の引き上げなどにより、ダンプ単価改定の動きが続いています。四月稼働分から生コン納めを中心にトン当たり百円〜二百円、地域によっては三百円という改定も実現しています。

碎石ダンプの全体的な単価改善は、平成六年五月に実施された道路交通法の改定以来です。

いま重要なことは、当時の教訓を踏まえ、過積載による値崩れを阻止することです。

これからが正念場です。

平成六年五月一〇日、ところが、定量に改定道路交通法施行当日の朝、NHKがニュースのなかで葛生町（当時のストック場からダンプ業界の「そのとき」を状況中継しました。それくらい社会的な注目を集める大問題だったわけです。

平成六年五月一〇日、ところが、定量になり単価は上がったものの数カ月で過積載が復活し単価は下がってしまいました。当時からダンプに乗っている組合員の多くは「あのときもつとみんながガンンしていれば」と語ります。

「10割超の過積載罰則が変わる？」 道路法の改正について

「道路交通法が厳しくなるの？」。ここ数年定期的にこのような質問を受けます。今回の「ウワサ」の出所は、国土交通省が今年五月九日に発表した「道路の老朽化対策に向けた大型車両の通行の適正化方針」です。

全国三九か所に重量自動計測装置が設置されています。従来はこの装置で積載超過が測定された場合は、車両所有者に対して警告書が送られる程度でした。

国土交通省は橋梁や道路

の劣化対策として大型車両の過積載を重視し、二倍以上の過積載を測定した場合は警察に告発するなど厳しい対応を方針化したということです。

ところがこの自動計測装置、道路に埋め込んだループコイルやセンサーなどを使って重量測定を行うわけですが、どこまで正確に測定できるか技術的な課題を抱えています。告発

いまこそ利益の還元を 道路会社本社要請

会社とも引き上げについては検討していることを明らかにしましたが、具体的な内容はこれからの方です。

路の劣化対策として大型車両の過積載を重視し、二倍以上の過積載を測定した場合は警察に告発するなど厳しい対応を方針化したということです。

ところがこの自動計測装置、道路に埋め込んだループコイルやセンサーなどを使って重量測定を行うわけですが、どこまで正確に測定できるか技術的な課題を抱えています。告発

オレも積んでるよ

「さし枠を落とした頃は、これからいい業界になるってみんな期待したんだ。当時は定量になればダンプが三倍必要だなんて本気で思ったもんだ。過積載が復活してあつという間に前より悪くなったね。オレも積んでるよ。でも最近目に余る積み方のダンプが増えてきた。いま新車を注文している人が多いけど、軽油一五〇円でもやっていけるくらいにならないと無理だと思う。」（ダンプ歴四〇年小林幸一さん）

今回の行動は、下請会社まかせにせず、直接ダンプの声を道路会社へ訴え本気で改善に取り組みでもらうことを目的に行いました。

会社とも引き上げについては検討していることを明らかにしましたが、具体的な内容はこれからの方です。

路の劣化対策として大型車両の過積載を重視し、二倍以上の過積載を測定した場合は警察に告発するなど厳しい対応を方針化したということです。

ところがこの自動計測装置、道路に埋め込んだループコイルやセンサーなどを使って重量測定を行うわけですが、どこまで正確に測定できるか技術的な課題を抱えています。告発

歴史を繰り返さないために、これからが重要。まだ原油は上がる可要です。まだまだ上げ幅は少なく、さらなる引き上げが不可欠です。全体の水準を上げるたしかし、一部では早くも「値戻し」の動きが

して、鹿島道路、NIPPON、前田道路、大成ロテックなど大手道路会社の本社と一部支店にたいして代表者一〇名で要請行動を展開しました。

各社とも大幅に利益を増やしています。ところが多くの職場でダンプ単価を上げていません。

今回の行動は、下請会社まかせにせず、直接ダンプの声を道路会社へ訴え本気で改善に取り組みでもらうことを目的に行いました。

会社とも引き上げについては検討していることを明らかにしましたが、具体的な内容はこれからの方です。

路の劣化対策として大型車両の過積載を重視し、二倍以上の過積載を測定した場合は警察に告発するなど厳しい対応を方針化したということです。

ところがこの自動計測装置、道路に埋め込んだループコイルやセンサーなどを使って重量測定を行うわけですが、どこまで正確に測定できるか技術的な課題を抱えています。告発



自動計測装置の設置箇所は公表されていません